

カタロにて

フリザーズフラワー シェー

日時：2月 21日(月) 13:00~15:00
26日(土) 13:00~15:00

体験：3,000円(全て込み)

おひな祭りのアレンジを作ります。

*好きな色のお花で、卒入学のコースージュをお作りします。お祝いの日を華やかに...

お問合せ・お申込み:

片岡 090-7267-4498
HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>



カタロにて

韓国語講座

日時：2月 14日(月)・28日(月)
10:00~11:30

会費：3,500円

講師 邊 美仙
韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業。

お問合せ・お申込み

篠崎 080-5543-7489



カタロ通信

VOI.156

2011年 2月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

北澤工務店

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-7
TEL: 0297-60-1333
FAX: 0297-60-1311
e-mail: info@e-kitazawa.com

カタロ

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-12
TEL: 0297-60-1666
閉館日: 水曜日
e-mail: kataro@e-kitazawa.com

甘味café 空~くろ~

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-12
TEL: 0297-63-0730
定休日: 水曜日
e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号

カタロにて



耕と暮らしの道具展

久留米耕の服・ホームウェア・小鹿田焼・籠・ほうき・沖縄陶器

会期：3月10日(木)～3月15日(火) am10:00~pm5:00

(最終日は正午まで)



おすすめ商品 今月の .Com ドットコム

1-117 ガス風呂給湯器 24号タイプ

GT-2450SARX BL マルチリモコンセット

通常定価 335,000円
60% OFF 134,000円

給湯器のお取替えをお考えの方、お買い得ですよ！
2月末日まで！

標準取付け工事費 25,000円(LPガスの場合)

都市ガスの場合(別途見積40,000円前後)

★現在の給湯器の種類により設置工事が増減する場合がございます。

★現場を見せていただきます！ お気軽にお電話ください。

北澤工務店0297-60-1333

北澤工務店が数ある商品の中から、選りすぐったものをどこよりも安い .com価格でご提供させていただきます。

ぼちゃぼちゃミセス日記

新年早々黒木家の一代イベント、娘(大学2年)の成人式が終わりました。式当日の朝、支度ができた娘を迎えに行く道、登ってくる朝日を見て、20年間があっという間だったなあ振り返り、胸がいっぱいになりました。

育児書通りでない不安だった子育て、他の子より劣っていると、また、心配。きちんとさせなくちゃと、いっぱい叱りました。いつの間にか、自分の意見をはっきり言うようになり、親はタジタジです。意見の違いは良く話し合いました。今では姉妹のようになっているような？...

自分の道をしっかり見つめ、夢へ、目標を持って大学生活を楽しく過ごしているようです。

娘が20歳という事は私もあの頃から20歳年とったの???いやだ~! でも、身体は正直です。10月にチャイルドシートに子供を乗せようとキックリ腰。12月にクシャミをしてギックリ腰。カイロプラクティックに通い、サプリメントを飲んでどうにか生活しています。抱っこをせがむ娘(2歳)に「ママ腰が痛いの!」と言っても分かってもらえず、「ママ腰痛くない!」と大泣き。上の娘が抱っこしてくれて一件落着。

昨年からの腰痛と闘う私と、元日に主人がギックリ腰。わがままな2歳児に振り回される黒木家の年始めでした。

腰痛にはきちんと栄養を取ってくださいとカイロの先生。カロリーじゃなくて栄養を取ってくださいね。と言われ、またまた落ち込むぼちゃぼちゃ体型維持の黒木直江でした。



お天気にも恵まれ12月吉日 龍ヶ崎市S機邸 上棟式が執り行われました。

...北澤工務店&甘味Cafe空~くろ~から...

2月 空のミニショップは...

『ファボリ』 ~ ボビンレース・布小物

『ぬのきれ』 ~ 古布の服・バック

祝上棟

1月30日(日)16時から 龍ヶ崎市貝原塚 押木養鶏場近くにて もちまきをします。皆さん来て下さいね。



龍ヶ崎市O様邸



コーラルストーン壁と掘りごたつのあるリビング



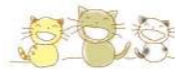
大黒柱：ケヤキ
カウンター：ヒノキ
素晴らしい木に囲まれた
リビングダイニング



和室天井：スギ板の竿縁
杉の赤身ばかりで揃えるのは
今どき大変なことです。
希少な木材です。



施主様のお父様が用意してくれた
変木を大工さんの工夫でモダンに！



カタロ通信2月号ではありませんが、いまぼくが書いているのは1月15日。もう『明けましておめでとうございます』には遅いけれど、やはりお正月の雰囲気の色濃い時期です。

一年の始まりのときですからね、やっぱり書きたくなってしまいます。それは、家づくりへの思い。またか、って感じかもしれませんが。昨年書きました。でも、何度でも書きたい。何度も何度も書いて、自分の意識を高めていきたい。そして多くの人とわかちあえたらうれしい！！と思います。

ということで、北澤工務店の家づくりのお話です。

北澤工務店は『自分の娘に振り袖を着せたような家づくり』という思いで家づくりをしています。具体的にいうならば『ほんものの家づくり』です。さらにわかり易いならば『ニセモノじゃない家づくり』。詳しくはカタロ通信2010年8月号のおさむのひとりごとにかかせていただきました。

『家』って、ほんとにほんとに、だいじだなぁ、って思います。『家』は家族・家庭のためにあるからです。家族の絆が育まれ、『愛』が育まれる場所だからです。ぼくみたいな風袋の男が『愛』とかいうのはとっても照れくさいのですが、でもほんとなんです。家族・家庭でたっぷり『愛』を受け取ることで人は安心して生きることができる。家族・家庭でたっぷり『愛』を受け取ることで愛のあふれる存在となり、人に『愛』与えることができる。芳村思風先生がおっしゃった言葉です。『愛は家庭で育つ』と。

社会を構成しているのが『人』。日本では1億2千万人。世界では60億人。でも一人ひとりの『人』で構成されていることは間違いない。その『人』とは家族・家庭から始まる。馬小屋で生まれた人はいない。だからこの場所だけは、ウソ偽りのない、素っ裸の自分でいられる場所でありたい。理屈を越えた場所でありたい。(全部が全部そうはいかないよー！というの承知していますっ！！)

その家庭・家族を育む場所が『家』なんだ。だから家がウソ偽りのものだったら、そこに育まれる家庭・家族も？？？になってしまうと思う。ほんもの木に見えるような塩ビシート。しっくいや自然石に見えるビニールクロス。中身は合板と接着剤の『新建材』……。夫婦のように見える『仮面夫婦』、絆の薄れた親子関係、表面ばかりキレイで中身であるところは砂漠のよう、ひとりぼっちのような感覚、つながっていないような感覚。新建材のような人間関係……。

真っ直ぐなほうがいい、曲がないほうがいい、一樣なほうがいい。そうやって子育てや教育がされてきた。でも人間は真っ直ぐじゃ生きられない。一樣にもなれない。一人ひとりには個性があるから。真っ直ぐな人間は素晴らしいかもしれないけれど、ぼくはあんまり魅力を感じないな。紆余曲折のたう

ちまわって生きてきた人間の中にこそほんものの人間の魅力を感じる。

真っ直ぐなほうがいい、曲がないほうがいい、一樣なほうがいい。そうやって曲がったり節があったり割れたりする自然木や天然石が排除され、工場で一様に生産できる『なんちゃって建材』が横行してきた。

それは経済合理性しか考えていないから。そして街には金太郎飴のような家ばかりになった。みんな優等生。先端技術を駆使した合理化住宅。でも、ほんとにそれでいいの???

そんなの、ぼくはイヤだな。

曲がっていても節があっても割れていてもほんもの木がいい。理屈を超えている。一つひとつの家が、ほんもの材料と職人による手づくりで、一つひとつの家族のように個性的な家がいい。

工場で作られたレトルト食品は一樣で均質でおいしいかもしれないけれど、理屈優先で思いは込められていない。だからカラダが喜ばない。工場で作られた新建材は一樣で均質で安いかもしれないけれど、合理性優先で思いは込められていない。だから魂が喜ばない。

社会全体の中での家づくりの流れは、政治主導、大手ハウスメーカー主導、大手建材メーカー主導であることは仕方ありません。でもそこにどっぴりとなびいてしまうことが、ぼくにはできない。便乗できない。ものすごく異和感を感じるから。その感性を鈍らせたくないから。

子供たちがそれを端的に現している。もうこんなじゃイヤだ！！って声が、ぼくには聞こえてくる。大人もそうですよね。信じられないような犯罪が隣りで起こる。それも頻りに！！そして毎日100人も自殺者がいる現状！！家だって訴えているんだ。シックハウス症候群とか引きこもりとか無数の空き家とか……！！もうこんなじゃイヤだって！！

だからぼくは、困難とはわかっているけど、『自分の娘に振り袖を着せたような家づくり』を実現していく。『ほんものの家づくり』を実現していく。あたたかみのある人間的な家づくりを実現していく。家づくりという仕事を通して、家族を見つめ、社会を見つめ、ひとを見つめていく。ぼくのような思いを持った工務店は多い。でも、いかんせん微力過ぎる。

でも、少しでも、ほんのわずかでもいいから、ぼくたちの思いが『家』という形になり、その『家』で家族の絆が育まれ、そこから豊かな人が育っていくことに祈りを込めて、これからこの『家づくり』という仕事をしていきます。

ブログを毎日更新中です。北澤工務店ホームページまたは、『おさむのブログ』を検索してみてください。お待ちしております！！



龍ヶ崎市S様邸



大きな吹抜けでつながる室内



2階からの見た
リビング
ダイニング



こだわりのキッチン。
奥様の工夫が活かされています。



お客様調達の
ガステー台とオープン

2階